

「人類学的民族誌を読み、
新たな世界を創造する」

エスノグラフィー

社会学部

准教授 木村 自
Kimura Mizuka

1. 『西太平洋の遠洋航海者：メラネシアのニュー・ギニア諸島における、住民たちの事業と冒険の報告』
プロニスワフ・マリノフスキ著（講談社 2010年）
2. 『ヌアー族：ナイル系一族の生業形態と政治制度の調査記録』
E. E. エヴァンズ＝プリチャード著（平凡社 1997年）
3. 『貧困の文化』 オスカー・ルイス著（筑摩書房 2003年）
4. 『民族紛争を生きる人びと：現代アフリカの国家とマイノリティ』 栗本英世著（世界思想社 1996年）
5. 『山谷ブルース：〈寄せ場〉の文化人類学』 エドワード・ファウラー著（洋泉社 1998年）
6. 『クレイジー・イン・ジャパン：べてるの家のエスノグラフィ』 中村かれん著（医学書院 2014年）
7. 『多としての身体：医療実践における存在論』 アネマリー・モル著（水声社 2016年）
8. 『現代フランスを生きるジプシー：旅に住まうマヌーシュと共同性の人類学』 左地亮子著（世界思想社 2017年）
9. 『分解者たち：見沼たんぼのほとりを生きる』 猪瀬浩平著（生活書院 2019年）
10. 『マツタケ：不確定な時代を生きる術』 アナ・チン著（みすず書房 2019年）

私たちの世界認識は、つねに理論と現実の往還にある。私たちは、理論（認識の枠組み、あるいは常識や先入観）を通してしか現実を認識することはできないし、また逆に現実の多様性を知ることで理論を拡張する。「他者」の日常世界を描き出す民族誌は、そうした理論と現実の往還を一冊の本のなかで達成する。しかも、他者の視点を借りて、他者の視点から現実世界を垣間見ることによって、私たちの常識や先入観に一撃を加える。

こうした意味での民族誌は、人類学的フィールドワークを通して可能になる。20世紀前半に活躍した人類学者マリノフスキは、ニューギニアの小島に3年間滞在し、現地の言葉を習得して、現地の人々と生活をともにしながら、内部の視点から異文化を描き出す民族誌を書き上げた。今日でも民族誌の多くは、マリノフスキ流のフィールドワークに基づく。

しかし、1980年代に入ると、「住民の視点から」描かれていたはずの民族誌は批判の対象となる。人類学者が描いたオセアニアやアフリカの小さな

共同体は、閉じられた空間というよりは植民地化というグローバルな力のなかで理解されるべきであるし、また「住民」は一人ひとりが個別の意志を持った具体的な人々である。そもそも「未開の民族」などという観念自体が、人類学者が創りあげた勝手なイメージだったのではないかと。

こうした自省を踏まえ、2000年代以降、新たな民族誌が生み出された。まず、国際紛争や国際経済など、ローカルな地域を越えた政治経済的文脈下における人々の日常世界が民族誌として描かれた。また、日雇い労働者や障がい者など身近な「他者」の日常実践について民族誌に記された。調査者自身の参与を含めた活動のプロセス自体を描写する民族誌も現れている。さらには、動物や植物などの非人間をもアクターとする民族誌も書かれている。

民族誌は私たちの常識や先入観を激しく揺さぶる。激しく揺さぶられたその先に、私たちはどのような世界を想像／創造することができるだろうか。新たな世界像を求めて、民族誌を紐解いてみよう。

[Information]



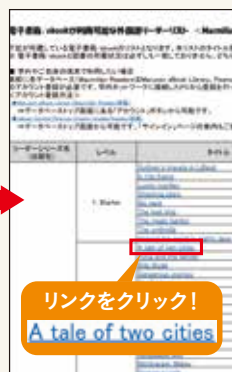
スマホ片手に、サクッと外国語リーダー

「外国語リーダー本が借りられてしまって読めない!」そんな経験はありませんか? 事前のアカウント登録で、学外でもebookで外国語リーダーを読むことができます。図書館HPの「サーチガイド」には「MARUZEN eBook Libraryの使い方」のほか、PDF内のリンクからebookのプラットフォームへアクセスできる「ebookが利用可能な外国語リーダーリスト」を掲載しています。授業に、継続学習に、是非ebookを活用してください。

立教大学図書館
サーチガイド QR

アクセスしよう

「サーチガイド」内「情報検索ガイド」のMARUZEN eBook Libraryの使い方や外国語リーダーリストを活用しましょう。



Your Library 第47号 (通号106) 発行日 2019年12月6日

編集 舩谷 鋭 (図書館副館長)
発行人 中村 百合子 (図書館長)
発行 立教大学図書館http://library.rikkyo.ac.jp/
連絡先 TEL 03-3985-2628
印刷 立教プリンティングステーション

Your Library

立教大学図書館だより No.47 | 2019.12.06 | ISSN 1883-1303

図書館でキャリアを考える

読書ナビ

木村 自准教授

Kimura Mizuka

社会学部

就活準備に図書館を活用しよう!

図書館ではキャリアデザインを考えるうえで参考にできる資料を多数所蔵しています。

特に、立教ラーニングスタイルコーナーには池袋図書館で約1,600冊、

新座図書館で約900冊の「キャリア支援図書」がまとめて配架されています。

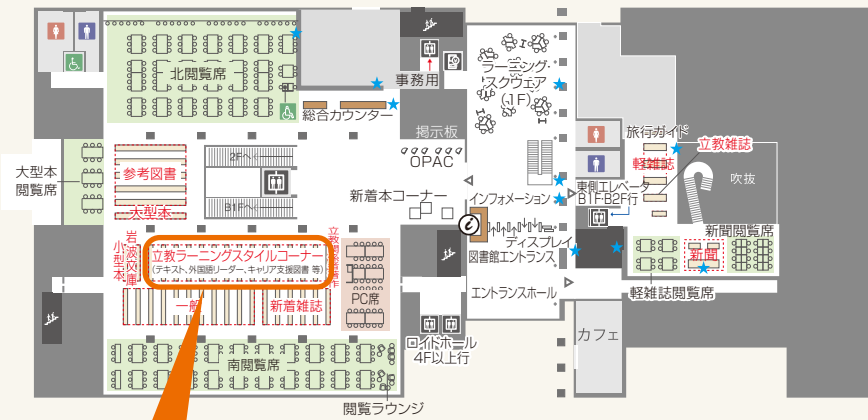
これら資料の多くは貸出利用が可能です。

また業界研究、留学案内、大学院案内、SPI問題集など情報が更新される実用書は館内で読むことができます。

さらに、新座図書館では学部のカリキュラムと結びついた資格取得の資料も用意しています。



池袋図書館 1階フロア



キャリア支援図書 ゲート左の自動ドアに入ってエレベーター左側

新座図書館 1階フロア



キャリア支援図書 ゲート入って左手の書架(表:禁帯出図書、裏:貸出可能図書)



今回は「キャリア支援図書」の中から、就活準備に活用できる資料についてご紹介します。

就活準備に必要なことのひとつに企業研究があります。

就活準備には東洋経済新報社の「**業界地図**」や「**就職四季報**」が便利です。

『会社四季報 業界地図』は、各業界の動向や特徴がわかります。

『就職四季報 総合版』は、気になる業界の個々の企業を調べることができます。主要企業の最新採用情報が載っています。

『就職四季報 女子版』は、総合版非掲載の女子版独自情報が充実しています。

『就職四季報 優良・中堅企業版』は、知られざる優良企業情報が掲載されています。

これらは図書館の「キャリア支援図書」の棚にありますので館内で手に取ってみてください。

「業界地図」や「就職四季報」の冊子体は、**禁帯出(貸出せずに館内で閲覧すること)**になっています。

それでは、誰かが読んでいたら見ることはできないの?.....

いえいえ、実は **オンラインデータベース** で閲覧できるものもあります。

電子リソースとしての特徴



同時アクセス
制限なし



自宅からも
見ることができる
※事前登録が必要



Download



画面上で見るだけでなく、
部分的にPDFダウンロード
ができる



総合版

女子版

優良・中小企業版

これらの図書はキャリアセンターにも
所蔵していて貸出もできます



オンラインデータベースから
「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」を
さっそく見てみましょう



立教大学図書館
リモートアクセスについて

学外から見る場合(リモートアクセス)には、事前の手続きが必要です。
詳細は図書館HPをご参照ください。

1

図書館ホームページから、
“オンラインデータベース”をクリック。

“オンラインデータベース”をクリック

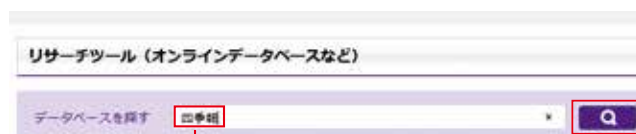


2

“リサーチツール(オンラインデータベースなど)”の画面で、
“四季報”と入力し、“虫眼鏡ボタン”をクリック。

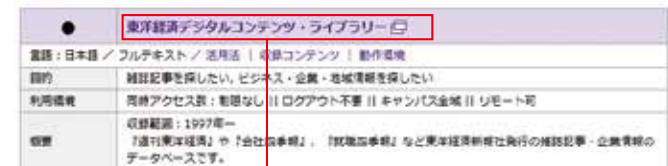
“四季報”と入力

“虫眼鏡ボタン”をクリック



3

検索結果で下記が表示されるので、“東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー”をクリック。



“東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー”をクリック

4

“東洋経済デジタルコンテンツ・
ライブラリー”のトップページが
表示される。

下にスクロールして「媒体一覧」
から読みたい資料のアイコンを
クリックして、閲覧してください。



もっと詳しい利用法を知りたいときはお気軽にカウンターでお尋ねください。図書館では、企業研究ツールの使い方を身に付けたい人のために「企業研究データベース講習会」を開催しています。池袋図書館・新座図書館ともに秋学期に行いますので、掲示や立教時間などのお知らせをご覧ください。

●2019年秋の実施例

「就活を勝ち抜くための『四季報・業界地図』活用法」東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー
「有価証券報告書から企業の真の顔を読み解く」eol

有価証券報告書とは・・・
金融商品取引法第24条の規定に該当する株式会社が金融庁に提出が義務付けられている書類です。
企業のあらゆる情報が網羅されており、目次立てがほぼ同じなので、必要な情報が探しやすい、比較しやすいものです。